

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	公園維持管理に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	弓削孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	パートナーシップによる緑づくりと保全のため、公園サポーターとのコミュニケーションを大切に、各公園の状況などに応じた管理を行う。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	引き続き、公園サポーターとのコミュニケーションを大切に、各公園の状況などに応じた管理を行う。
②①に基づく取り組み結果	各公園の状況などに応じた管理を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市が管理する都市公園 ふれあいの森	意図(対象をどう するのか)	来園者に対して気持ちの良い公園 を提供する。
②事務事業の概要	都市公園としての機能の維持及び景観の保全を図るため、定期的な清掃・草刈り等の実施及び公園施設の補修工事等を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民との協働管理においては、少子高齢化の進展に伴い、高齢化へ移行していくものと予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	みどりにつつまれた快適なまちを実現し、安らぎとうるおいのある環境を創造するため、市内の良好なみどりの保全、みどりの創出並びに緑化の普及、啓発を行う。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	公園サポーター数	31	32	33	人	業務取得
	ii	公園サポーター管理公園数	36	38	39	箇所	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	124,242	137,995	金額(千円)	内容		132,659	
国支出金(千円)			87,387	都市公園等維持管理委託等			
県支出金(千円)			27,502	既設公園等整備工事			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	124,242	137,995					

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	都市公園数の増加や既存施設の老朽化に伴う維持管理費の増加					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	公園管理において、地域住民の参加を増やし、公園に対する愛着と意識を高める必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	流用・充当					
	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	緑化推進に要する事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	弓削孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	吸収源対策公園緑地事業(交付金事業)を活用し、ふれあいの森の用地取得について地権者との交渉を行う。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	吸収源対策公園緑地事業(交付金事業)を活用し、ふれあいの森の用地を取得していく。また、ふれあいの森マップを作成する。
②①に基づく取組み結果	結論は出ていないが地権者と用地交渉は継続中である。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	500㎡以上の良好な民有林	意図(対象をどうするのか)	市民が利用できる緑地の確保、土地所有者の負担軽減
②事務事業の概要	みどりにつつまれた快適なまちを実現し、安らぎとうるおいのある環境を創造するため、市内の良好なみどりの保全、みどりの創出並びに緑化の普及、啓発を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市管理から自治会・市民ボランティアによる管理体制の検討が必要である。所有者の高齢化の伴う、相続税対策が求められる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	「鎌ヶ谷すみどりの条例」に基づき、保全林、保存樹木、ふれあいの森の助成を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	ふれあいの森面積率	2.33	2.46		%	業務取得
	ii	民一人当たりのふれあいの森面	0.33	0.33	0.38	㎡	業務取得
	iii	市民一人当たりの公園面積	2.29	2.27	2.85	㎡	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	11,106	16,070	金額(千円)	内容	19,063		
	国支出金(千円)		2,823	ふれあいの森報償金			
	県支出金(千円)		5,418	公園用地賃借料			
	市債その他(千円)		1,378	保全林等助成金			
	一般財源(千円)	11,106	16,070	5,235	ふれあいの森整備工事	19,063	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	ふれあいの森の用地取得後、市管理から自治会・市民ボランティアによる管理体制に移行する。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	吸収源対策公園緑地事業(交付金事業)を活用し、公園として整備を図る計画を策定しているため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	地区公園整備事業(栗野地区公園整備事業)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	弓削孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成25年度中での一部開園(第一期整備計画)を目指す	③平成26年度に取組む改革・改善内容	第二期整備計画区域(2.7ha)の用地買収に着手する。また住民協働による第二期整備計画(案)の策定作業を始める。
②①に基づく取組み結果	栗野地区公園の一部、第一期整備計画区域(5.6ha)を開園した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	栗野の森及びその周辺の斜面地、休耕田(約8.3ha)	意図(対象をどうするのか)	樹林地及び谷津田を取得し動植物の保護
②事務事業の概要	新鎌ヶ谷地区に隣接する、栗野の森及びその周辺の谷津田等約8.3haの区域を、自然を活かした地区公園として整備し、市制記念公園及び(仮称)総合運動公園と一体となる「森とレクリエーションの拠点」として整備を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	平成25年緑の基本計画を策定、市内では樹林地の減少しており、新鎌ヶ谷地区の街づくりが進展に伴い自然環境を活かした栗野地区公園の早期整備の要望が強まった。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	平成25年度は、平成15年度に都市計画事業として認可された第1期整備事業区域で駐車場等を整備し開園した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	算定根拠
	i	第一期用地取得面積	91	96	96	% 業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)	35,348	64,884	金額(千円)	内容	53,897	
国支出金(千円)	10,000	24,000	42,172	栗野地区公園整備工事	20,000	
県支出金(千円)						
市債その他(千円)	17,800	28,800			31,750	
一般財源(千円)	7,548	12,084			2,147	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	栗野地区公園一部開園に伴い、第二期整備計画区域(2.7ha)の着手要望が強い。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	第一期に続き、着手要望が強い、第二期整備計画区域を整備していく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	用地買収、施設整備	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	栗野地区公園一部開園(第一期整備計画区域)	64,884	44,870	当初	64,884	44,494	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0			
③達成状況	完了			補正	-24,583		現年分	44,494
④未完了・非着手の理由				流用・充当	4,569			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)	0			

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	街区公園整備事業(井草橋公園、川慈公園他)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	弓削孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	井草橋公園は平成25年度完成を目指す。川慈公園は平成25年度用地購入を進める。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	東道野辺7丁目ふれあいの森の区域用地取得。 川慈公園の公園整備を図る。
②①に基づく取組み結果	井草橋公園は平成25年度完成。川慈公園は平成25年度用地購入。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	井草橋公園に隣接広場 川慈公園(1,439㎡)	意図(対象をどうするのか)	住民要望がある公園を整備する。
②事務事業の概要	川慈公園用地を購入し公園として整備する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	吸収源対策公園緑地事業(交付金事業)の創設、地元自治会からの要望			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	平成25年度は測量及び1,338.39㎡の用地取得を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	井草橋公園の整備		60	100	%	業務取得
	ii	川慈公園の用地購入			100	%	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	196,343	105,412	金額(千円)	内容	101,044		
国支出金(千円)		31,000	1,111	川慈公園測量委託	31,800		
県支出金(千円)			88,886	川慈公園用地取得費			
市債その他(千円)	194,800	65,800			57,200		
一般財源(千円)	1,543	8,612			12,044		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	川慈公園の用地購入、26年度より吸収源対策公園緑地事業として地元自治会等とも協議して整備を行う。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	緑の基本計画における緑の将来像実現のため、今後も公園整備を実施する必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	用地買収、整備	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	川慈公園の用地購入 井草橋公園の整備	105,412	98,383	当初	105,412	95,978	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0			
③達成状況	完了			補正	0	現年分	95,978	
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-7,029			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)	0			

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	(仮称)総合運動公園整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	弓削孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	緑道整備に取り込む	③平成26年度に取組む改革・改善内容	(仮称)総合運動公園整備事業に伴う用地取得を着手していく。
②①に基づく取組み結果	緑道完成 供用公告する		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市制記念公園と陸上競技場との間の緑道整備	意図(対象をどうするのか)	利用者の利便性を高める
②事務事業の概要	市制記念公園と陸上競技場を連絡する企業庁用地を緑道として整備する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	兼ねてから総合運動公園構想の実現が望まれおり、整備計画が定まり地域性、利便性等を考慮に施設を結ぶ緑道の必要性が認識された。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	平成25年度は(仮称)総合運動公園緑道の園路整備工事を行い開園した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	算定根拠
	i	工事進捗率	2	100	100	% 業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)	20,024	35,524	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)	11,000	20,000	31,290	(仮称)総合運動公園園路整備工事		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	9,024	15,524				

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市制記念公園と陸上競技場との間の緑道を市道2321号線まで整備する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	総合運動公園構想に基づき、公園として整備を図る計画を策定しているため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	緑道整備	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	市制記念公園と陸上競技場との間の緑道整備	33,024	34,897	当初	33,024	34,888	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0			
③達成状況	完了			補正	0		現年分	34,888
④未完了・非着手の理由				流用・充当	1,873			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)	0			

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	公園施設長寿命化事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	弓削孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	施設調査によって得られた老化や損傷の進行状態を判断した上で、効率的な修繕・更新計画を策定する。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	長寿命化計画を基に維持管理を実施
②①に基づく取り組み結果	施設調査によって得られた結果を基に長寿命化計画を策定した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	鎌ヶ谷市内の公園施設	意図(対象をどうするのか)	既存施設の長寿命化対策及び安全対策の強化を進める。
②事務事業の概要	今後進展する遊具等公園施設の老朽化に対する安全対策の強化及び修繕・更新費用の平準化を図るため、公園施設長寿命化計画を策定し、施設管理を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	公園施設の老朽化が急速に進む中で、計画的な維持管理に取り組むことが必要となっている。誰もが安心して利用できる都市公園の管理が望まれている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	平成24年度に施設調査した176公園について、平成25年度に計画を策定した。貝柄山公園トイレの実施設計を委託した。					
②成果を表す指標	指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i 対象公園数	-	176	176	箇所	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)	6,090	11,895	金額(千円)	内容	48,000	
国支出金(千円)	3,000	4,000	6,720	公園施設長寿命化計画策定委託		
県支出金(千円)			5,175	公園施設整備工事設計委託		
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	3,090	7,895				

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化が進む中、修繕・更新費用の平準化を図り、計画的に事業を進めることが課題。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	誰もが安心して利用できる公園の管理が推進されることを念頭に、今後進展する遊具等公園施設の老朽化に対する安全管理の強化を進める必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	計画策定・設計委託	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	公園施設長寿命化計画策定	13,260	13,260	当初	7,360	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0		
③達成状況	完了			補正	5,900	現年分	11,895
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0		
		平成26年度への繰越額(単位:千円)		0			